

「救急車」

出動回数なんと二二二回
七月に多い交通事故

四十八年(一月〜十二月)一年間の救急車出動回数は二二二回、救護人員二八八人と郡内でも、吉田町、巻町に次ぎ、一・七日に一回出動していることになり、中でもトップを占めている交通事故の出動回数は九十一回と一・五日に一回ということになります。特に昨年の十月から北陸高速自動車道の工事が着工され、ダンプ往來の激しい工事用搬入道路で、交...

事故別救急車出動状況

Table with columns for month (月別), accident type (事故種別), and count (計). Rows include categories like water (水), traffic (交通), and labor accidents (労働災害).

昭和48年1月1日〜12月31日まで

は石油危機の影響を受け、供給削減とガソリンの値上りにより、日曜日におけるマイカー族のドライブと運転回数の自粛が主な要因と考えられる。



人命第一と現場に急行

国民年金保険料に
ついてお知らせ

一、今年から保険料納入通知書が変わりました。これは国の指導に基くもので、その取扱については国民年金委員(納税組合長)または保険料取扱金融機関の指示に従ってください。

献血に感謝し
香典返しに十万円を寄附

去る四月二十七日黒埜町大字善久の富岡 恵さん(夫、故富岡芳夫氏)が生前病氣療養中、多数の人から善意の献血を頂いたことに感謝すると共に、社会福祉事業に役立ちたいとの意味で亡夫の香典返しとして十万円を黒埜町社会福祉協議会に寄附されました。

身体障害者福祉協会
加入のおすすめ!

時代の高度化、複雑化に伴って、交通事故や産業事故、その他疾病による身体障害者が増加の傾向にあります。黒埜町身体障害者福祉協会では現在三百数十名の会員が加入しており、お互いに福祉し合い助け合って身体障害者福祉のために努力し協力し合っております。

この協会に未加入の方が相当数おられることと思いますが、身体障害者の処遇が少しでもよくなるように是非加入くださるようお願いいたします。なお申込みは黒埜町身体障害者福祉協会です。

労働者
住宅資金の貸付

一、貸付対象者
自分や同居の親族が住宅を新築増築、購入しようとする労働者。
二、貸付条件
(1)貸付金額 三〇万円以上一五〇万円までの一〇万円単位の額。
(2)利率 年八％
(3)償還方法 一〇年以内の元金均等月賦償還。なお、希望者が、借入額の三分の一以内を限度とし、一〇万円単位の金額につき、ボーナス時増額返済を認めました。

心配ごとと柱石日は毎週土曜日
場所 役場二階会議室

悲しい幕あけ
春の交通安全運動

春の交通安全運動

毎年実施される、春の交通安全運動は四月五日から十五日までの十一日間にわたり、通園、通学児童を事故から守ろうという、スローガンのもとで行なわれた。運動期間中、警察署の応援を得て、交通指導員、交通安全母の会の人達が早朝から街頭に立ち、幼い児童、園児に交通信号の見方、横断歩道の渡り方などを指導するとともに、交通事故の災禍から生命を守ろうと、けん心的な努力の甲斐あって期間中の児童、園児の事故はなかったものの、初日から車対車の事故が大野新田町で発生幸いにして、人体に影響はなかったものの、悲しい出発であった。また、十二日には、事故続きの高...



4/13 指導所で風船やパンフレットを配布

き過ぎるまで待たされた。今の子どもは車とすれすれになっても友達と話をしながら歩いている姿をあらわに見かけます。これは大変危険です。道路の右端を列縦に歩いて歩くようにしてほしいのです。もう一つ感じたことは走っている車の中から火のついたタバコを外に投げ捨てる光景をよく目にします。これも非常に危険です。特に春は空気が乾燥しており、火災の発生源にもなかねません。絶対やめて下さい。また、交差点を車で通過する場合、黄色の信号が点滅しているにもかかわらず、よ...

故にあつてから嘆いてはもう遅いのです。事故を起した時の恐ろしさ、事故にあつた時の悲しさを他人事と思わず、自分の事と思つて常に気を引き、交通戦争に対処してゆかなければなりません。近年は特に都会から地方へ、町部から農村部へと事故の増加が目立ちます。歩行者も運転車も、「車はこわいものである」ということを頭からはなさないよう。以上以上にスピードを出して行く車を見かけます。信号を待つのはせいぜい一分一秒三秒位です。常にゆとりをもつた運転をするよう心がけてほしいのです。前述のいすれも歩行者、運転者の交通安全の欠如が原因で、ともすると大事故の要因にもなりかねません。いつもいわれていることですが歩行者も運転者も交通ルールを守ることで事故は防げます。

交通安全意識の高揚は地域住民のうち無関心層に働きかけることにより達成されるという点が特に考えられると思います。昭和48年交通事故による死者は県民一億の努力により前年よりうらべて極めて大巾に減少したと言われている。この町民総力をあげて比の問題に取組、更に研究と(創意)による成果が非常に大きいものと思われま。本町に於ては、すでに北陸自動車道の工事、やがては新幹線工事の着工と、全く向う3〜4年間はまさに本町中心とした交通戦争と申し上げても過言でないかと思ひます。そこで私の過去の経験から二、三問題を取り上げてみたいと思ひます。

車を恐がらない現代っ子
私は町の交通指導隊の一員として、自分の仕事のかたわら町民の皆様の交通指導にあつてまいりました。本年度の運動を終えて感じた事をちよつと書いてみました。まず第一は感じた事は、今の子どもはまったたく車をこわがっていないという事です。ある反面には良いことかもしれません。車が後から来てくると道路の音が目につきました。昔は車の音を聞いただけで道路の端に寄り行...

き過ぎるまで待たされた。今の子どもは車とすれすれになっても友達と話をしながら歩いている姿をあらわに見かけます。これは大変危険です。道路の右端を列縦に歩いて歩くようにしてほしいのです。もう一つ感じたことは走っている車の中から火のついたタバコを外に投げ捨てる光景をよく目にします。これも非常に危険です。特に春は空気が乾燥しており、火災の発生源にもなかねません。絶対やめて下さい。また、交差点を車で通過する場合、黄色の信号が点滅しているにもかかわらず、よ...

春の交通安全運動をふり返って感じた事をお話します。朝のラッシュの続く七時三十分頃から、私達交通安全母の会、安全協会、警察、及び学校の先生の見守る中を子供達が「おはようございます」と自然に口々にしながら登校して行く。私は胸にじんときるものがありました。かと思つて、自転車で乗っている人は、交通マナーも考えないで、あつという間に通りに入ることと思われぬ。信号が青になるとダンプカーも他の自動車も一勢に走り出ります。ダンプカーはうなりをあげて私の前を走って行く。私はとき時、自転...

車に乗っていて、自動車横を走りすぎると身もすくむようなこわさや何回もわかつたことがある。そういうこわさを思い出すと、充分注意して通らなければならぬと思ひます。運転手さんは、自転車や歩行者がうろついたら大変迷惑ではないかと思ひます。お互に、これからだんだん暖かくなると思ひます。一段と疲れの出る方々どうぞ気を付けて飲酒運転、いぬわり、わき見運転に充分注意して下さい。交通安全母の会、全員あげてのお願いです。この三つの願いを守っていただいで、事故のない明るい生活を送られるようお願いいたします。

交通安全意識の高揚は地域住民のうち無関心層に働きかけることにより達成されるという点が特に考えられると思います。昭和48年交通事故による死者は県民一億の努力により前年よりうらべて極めて大巾に減少したと言われている。この町民総力をあげて比の問題に取組、更に研究と(創意)による成果が非常に大きいものと思われま。本町に於ては、すでに北陸自動車道の工事、やがては新幹線工事の着工と、全く向う3〜4年間はまさに本町中心とした交通戦争と申し上げても過言でないかと思ひます。そこで私の過去の経験から二、三問題を取り上げてみたいと思ひます。